

医療法人財団 愛泉会

愛知国際病院

老人保健施設 愛泉館

# みやまみやま

vol.89

特集 ホスピス・緩和ケア

残された時間を  
かけがえのないものに  
いのちを慈しむ

ホスピス

CROSS people

ホスピス座談会

医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち

日進市東部

地域包括支援センター



# 残された時間をかけがえのないものに いのちを慈しむホスピス

残された時間といのちを感じながら  
その人らしく過ごすことを大切に  
することがホスピスの目指すケアです。

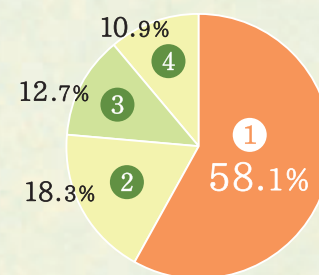
## 延命治療より緩和ケアを 望む人が半数以上

だれもが迎える終末期。治療に専念して延命に力を注ぐか、病気の痛みを緩和しながら平穏で充実した時間を過ごすか。どちらを希望するかによって終末期ケアは大きく異なります。「ホスピス財団※」の調査によると、人生の最終段階で「延命治療より、痛みや苦痛を取り除く治療を希望する」が半数以上を占めました。

「痛みや苦痛を取り除く」選択肢のひとつがホスピスへの入院です。イギリスで発祥したホスピスは患者さんとご家族を中心に、医師、看護師、社会福祉士など専門職とボランティアで構成されるチームケアが特徴です。

※財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団

## ● 人生の最終段階に受けたい治療



- ① 生命予後を可能な限り長くするより、痛みや苦痛を取り除く治療をより希望する
- ② 分からない
- ③ 特に希望はない
- ④ 治療に苦痛がともなうとしても、病気に対する治療(延命治療)をより希望する

出典:財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団「ホスピス・緩和ケアに関する意識調査(2018年)」より

## ● ホスピスが目指すケア

生命を尊重し、死を自然なことと認めます。そのため死を早めたり、引き延ばしたりしません。

### 精神的・社会的ケア

孤独を感じさせないように寄り添い、生命を尊重し、残された時間をその人らしく生きていけるように支えます。

### ご家族のケア

ご本人だけでなく、寄り添うご家族が病気や死別した後の生活を受け入れられるようなケアも行っています。

### 身体的ケア

死を早めたり、引き延ばしたりすることなく、投薬などによって病気の痛みやその他の苦痛な症状を和らげます。



## History ホスピスの歴史

### ホスピスが誕生して半世紀

ホスピスは1967年、イギリス人の女性医師シシリー・ソングースが「聖クリストファー病院」にホスピス病棟を開設したことが始まりです。主にがんの末期患者に対し、身体的な苦痛を和らげ、精神的・心理的に安らかに余生を送れるような緩和ケアを実践しました。日本では80年代以降、ホスピス・緩和ケア病棟(医療保険制度による承認施設)が開設されるようになりました。



## 愛知県の草分け 地域と共にあるホスピス

まだ愛知県内にホスピスがなかった1999年。愛知国際病院の創設者である故・川原啓美理事長の長年の夢が発端となり、「地域にホスピスを」という市民の想いと草の根的な活動によって、愛知国際病院に独立型のホスピス病棟が誕生しました。まさに地域と共に作り、地域と共にあるホスピスです。

四季折々の花が咲く美しい環境のもと、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、音楽療法士など多分野の職員とボランティアがチーム体制で心のこもったケアを何よりも大切にしています。限られた大切な時間を、身近な人たちと、その人らしく過ごすことのできる「第2の自宅」として、身体的、精神的、社会的、スピリチュアル(霊的)な援助に力を注いでいます。

## ～愛知国際病院ホスピスの特徴～



### 独立型のホスピス病棟

一般の病棟とは離れた2階建ての病棟で、落ち着いた静かな時間を過ごします。



### 自然に包まれた環境

窓に広がる庭の風景や、朝摘み取った花を眺めるなど自然に癒されます。



### ボランティア 「紫苑」

ホスピス創設時に誕生したボランティアグループ「紫苑」が寄り添います。



### 今も息づく創設者の想い

故・川原理事長の想いを受け継いだ職員たちがホスピスケアに力を注ぎます。



### 在宅ホスピスも 支援

訪問看護ステーションえまいと連携し、在宅ホスピスにも対応します。

## Message 患者さんより

入院した頃の私は心にバリアを張って自分の世界に閉じこもっていました。けれどホスピスで暮らしていくうちに心の氷も解けていきました。(中略)身体的には病気が少しずつ進行しているとはいえ、気分的にどんどん元気になり、ずっと忘れていたしゃべること、笑うこと、歌うことを取り戻しました。ここが私の家だと思っています。

## Message ご家族より

母がホスピスに転院した日。主治医の先生から「どのように過ごしていきたいか希望を言ってみてください」と言われた母は、先生の優しさが嬉しく、涙を流しながら色々なことを話していました。(中略)亡くなる数日前に母の誕生日会ができ、とても嬉しかったです。ホスピスのみなさま、本当にありがとうございました。

※「ホスピスだより」より抜粋



スタッフとボランティアが  
ホスピスで働く  
日々について語ります。



管理栄養士 畑 朱美 看護師 加藤 直美 ホスピス相談員 眞能 加奈子 ボランティア 細江 明美

**日頃から大切にしていること**  
畑 みなさん、患者さんと接するとき、どんなことを心がけていますか。管理栄養士の私は、ホスピス担当になってから、食事のことだけでなく、趣味やご家族との思い出など、患者さんといういろいろな話をするようになりました。そこに献立のヒントもあるように思っています。

いるんですね。私も医療を提供する看護師ではあるけれど、看護師と患者さんという関係ではなく、人生の先輩方から「教えていただく」という気持ちで接しています。

**細江** じつは私は母をここで見送ったのですが、母の入院中、ひとりになりたいたいことがあって、そんなときは病棟の一角にある小さな畳のスペースで静かに過ごしていました。その経験から、患者さんやご家族にとって、さらさらとした時間が流れるよう、ときには空気のような存在となって安らぎをお届けできればと思っています。

**眞能** ホスピス入院前にご本人やご家族から相談を受けるのですが、さまざまな葛藤を抱えていることが少なくありません。そのお気持ちを察しながら、安心して過ごせる環境を整えていきたいと思っています。

**残された時間を大切に生きる場所**  
加藤 創設者である川原先生をここで看取ったときは今も忘れられません。がん進行への不安を抱えながらも、私たちを見守ってくださって

少しでも希望が叶うように  
その人らしい日常をお支えする

**加藤** ホスピス看護師は、まず患者さんが何を目標に、何を大事にしているか知るところを大切にしています。「痛くても動きたい」と言われれば、痛くなく歩ける方法を一緒に考え、ときには理学療法士に協力してもらって希望が叶うように寄り添います。

**畑** 管理栄養士も同じですね。一般の病棟だと、治療のために食事制限や、出せないメニューなどがありますが、ホスピスでは基本的に制限がなく、可能な限り食べたいものをお出しします。逆に「食べたいものがない」と言われるほうが困ってしまいます。

**細江** 専門職のみなさんは日々厳しい仕事をされているので、私たちボランティアにできるのは、はりつめた空気をふわつとして、ほつとできる環境をつくること。ティータイムにはご希望のお飲み物をお好きなカップでお出しして、一緒に絵手紙を書いたり、お散歩やお話し相手をさせていただいたり…。

**眞能** 毎朝、庭のお花を飾ってくれる



のもボランティアのみなさんですね。ホスピスというと「死を迎える場所」と暗いイメージを持たれがちですが、実際にここを見学していただくと、医師、看護師、ボランティアの温かいケアに加えて、周囲に緑やお花があつて、猫や鳥もいて、「ここなら、ゆつたりした時間を過ごせるかも」といわれることが少なくありません。

**細江** うれしいですね。私は、ホスピスは家だと思っています。ですから玄関や床の間に花を生けると同じ気持ちで、患者さんのお部屋にお花を


いました。

**細江** 地域と共にある病院を望んだ先生が「僕が思い描いた病院になってうれしい」と言われたそうです。それを知ったときは感動しました。改めて先生の懐の深さを感じます。


**畑** 私はホスピス担当になってまだ1年半ですが、本当に過ごしやすい環境になっていると思います。

**眞能** ここは患者さんが残された時間を大切に生きる場所。できる限り支えていきたいと思っています。


Profile

 看護師 加藤 直美  
大学病院や総合病院での病棟勤務時代、治療期を終えた方々のその先を思うと心残りを感じ、1999年、ホスピス病棟のある当院に転職。患者さんの望むことにどれだけ寄り添えるかを日々考えながら看護を行っている。




 管理栄養士 畑 朱美  
1999年入職。病棟を担当していたが、2016年末からホスピス担当。患者さんのご要望を伺いながら、基本的に「食べたいもの」を食事で提供。ご希望内容によっては、お一人のためにメニューを用意することもある。



 ホスピス相談員 眞能 加奈子  
2008年入職。看護助手を経て、2012年ホスピス相談員。心のケアもできるようにしたいと考え、通信で「精神保健福祉士」の資格を取得。ホスピスのご案内、入院までの手続きなどきめ細やかに相談に応じている。



 ボランティア 細江 明美  
豊田市のボランティア協会に属していることがきっかけで、ホスピス病棟の創設時、ボランティアグループ「紫苑」メンバーとなり、立ち上げにも関わる。他のグループでも活動しており、長くボランティアに関わっている。





福祉、保険、介護など総合的な相談を受け付けています。



1日何軒もご自宅を訪問し、地域の声に耳を傾けます。



相談や問い合わせの電話への対応も重要な業務の1つです。

職場のこと  
仕事のこと

日進市東部地域包括支援センター  
介護・福祉・健康・医療、  
あらゆる相談に対応します

愛泉館内に事務所を構える日進市東部地域包括支援センターでは、地域で暮らす高齢者のみなさんの支援を行っています。いつまでも住み慣れた地域で健康に暮らせるよう、介護保険認定の手続きや介護保険サービスの利用について説明したり、ご本人やご家族の困りごとや心配ごとの相談に応じたり、さらには健康・福祉・介護をテーマに出前講座を開くなど幅広く活動しています。

ここ最近、増えているのが認知症症状に関する相談、近所から寄せられる心配の声です。私たちスタッフは現地に足を運び、多くの方の声を傾けることを大切にしています。

「地域の高齢者のなんでも相談窓口」



地域包括センターは、社会福祉士、保健師(または看護師)、主任介護支援専門員(ケアマネジャー)の3職種で構成されます。

談窓口なんです(笑)と看護師の加藤理子さん。どんなことも気軽に相談してもらえよう、高齢者の集いの場などに積極的に出向き、日頃から地域の人々とコミュニケーションを図って信頼関係を築くことを大切にしています。「民生委員や地域の関係機関とも連携して、高齢者のみなさんをしっかりと支援していきたいですね」。

職場のこぼれ話

すごいアスリート女子がいる！  
一番の若手、加藤明日香さんは7回連続「名古屋ウィメンズマラソン」の完走者。カヌーの大会審判の資格も持っています！



左から社会福祉士の加藤明日香さん、看護師の加藤理子さん、主任介護支援専門員(ケアマネジャー)の横山英治さん、保健師の橋本京子さん。



看護師  
加藤 理子  
愛知国際病院での訪問看護ステーションや病棟勤務などを経て、2006年日進市東部地域包括支援センター立ち上げと同時に入職。

ホスピスの誌上見学会

穏やかな時間が流れているホスピス施設内を誌上で少しだけご紹介いたします。

私がお案内します

ホスピス相談員  
眞能 加奈子



わが家のようにお過ごしいただけるお部屋のボランティアが毎日お花を飾ります。



部屋の窓に広がる中庭の美しい風景は、職員も大好きです。



ドアストッパーはボクだよ



寝たまま湯船につかっていただける介護浴室。



テラスに出ると中庭を見下ろすことができ、心地いい風が吹いてきます。



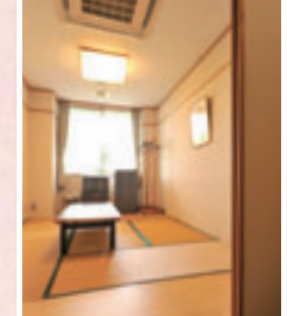
1Fエントランス正面にあるギャラリー室はいつでも自由に見学できます。



常設ギャラリーに気に入った作品があればお部屋に飾っていただけます。



自由に過ごせる明るい畳スペース



ご家族がゆっくり宿泊できる家族室も用意しています。

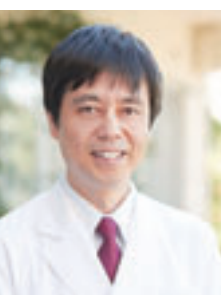
プロの美容師さんが訪問してヘアカットしていただけます。



「普通の人と一緒に生活」を夢みて  
ホスピスに入院されたとき、患者さんもご家族も「痛みだけは取ってください」と言われる人がほとんどです。でも、よくよくうかがうと「歩けるようになりたい」「食べられるようになりたい」など、実現できそうもない希望を話してくださいませ。ご家族からは「昼間はちゃんと目を開けてほしい」「もう一度、家に帰らせてあげたい」など、元気な頃には当たり前だった「普通の生活」を切望されるのです。

私たちスタッフは、患者さん、ご家族が希望を叶える力を信じて寄り添い、お手伝いします。すると、みんなの願いが通じて、患者さんの心や身体に奇跡が起きる瞬間があります。そんなとき、当院の理念「神いやし我ら仕える」が思い浮かびます。患者さんに力を与えてくれた神に感謝するとともに、患者さん、ご家族と一緒に、「普通の生活」を夢みて働ける幸せを実感します。

患者さんと一緒に「普通の生活」を夢みて



ホスピス医師  
大村 浩之

リレーでつづる  
Dr. ひだまり 日記



ゴスペルに出会って

副院長 河村 健雄

子どもの頃から歌うことが大好きでした。人前で歌う機会はめったになく、音楽の授業の歌唱テストは大きな声で歌える至福の時間でした。社会人になってからはカラオケを楽しむ程度でしたが、日ごろ厳しい顔でとつきにくい私にとって、歌は同僚や他職種の人たちと打ち解ける大切な手段でした。当院に入職してからは忘年会や職員旅行、クリスマス会などで患者さんやご家族の前で歌う機会もありました。そんな私がゴスペルと出会ったのは11年前。看護師さんに誘われて、尾張旭市の小さな教会でオリエンテーションに参加したときはカルチャーショックを受けました。まず先生の歌声がプロフェッショナルだったこと。次に楽譜はなく先生の歌を繰り返し聞いてメロディーをとること、そして皆が声を合わせて歌ったとき今まで経



験したことのない魂をゆさぶるパワーを感じたことです。以来ゴスペルにやみつきになり、月2回のレッスンを楽しみながら続けています。ゴスペルは17世紀にアメリカ大陸から奴隷としてアメリカ合衆国に連れてこられた黒人たちが聖書に出会い、仲間と歌うスピリチュアルズ(黒人霊歌)を起源としています。1930年代にトーマス・A・ドーシーがブルースに黒人霊歌の歌詞をのせたことでゴスペル音楽が花開き、60年代にジェームス・クリーパーランドがクワイアスタイルを確立しました。ゴスペルはもはや教会の歌だけでなく、多くの人が楽しめる元気の出る歌として世界中に広まっています。興味ある方は私と一緒に歌ってみませんか。

【練習場所】パークサイドチャペル(東名古屋キリスト教会) 尾張旭市柏井町栄229 TEL 0561-54-8853  
【練習日と時間】朝の部：毎月第2、第4水曜日の10:30~12:30 夜の部：毎月第2、第4火曜日の19:30~21:30

Next Doctor >>>  
内科 川口レオ先生です。お楽しみに!

愛泉館だより

パワーリハビリ② トorsoフレクション

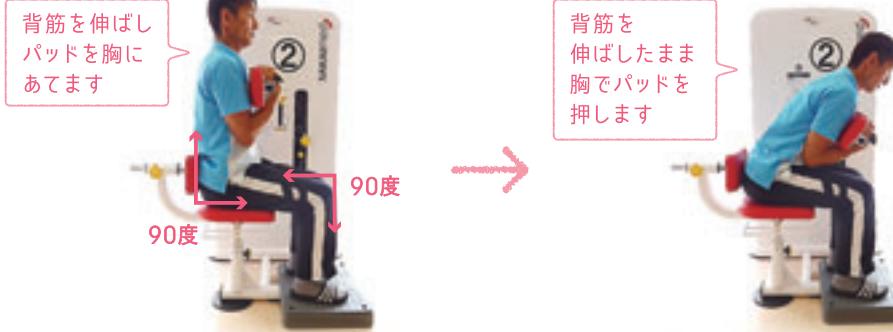
パワーリハビリとは

「最近歩くのが遅くなった」「身体が思うように動かない」。それは「使っていない筋肉」が原因かもしれません。全身の筋肉を動かしてバランスを良くし、「活動力」を高めていくトレーニングをパワーリハビリといいます。第2回はトorsoフレクションを使った運動を紹介します。

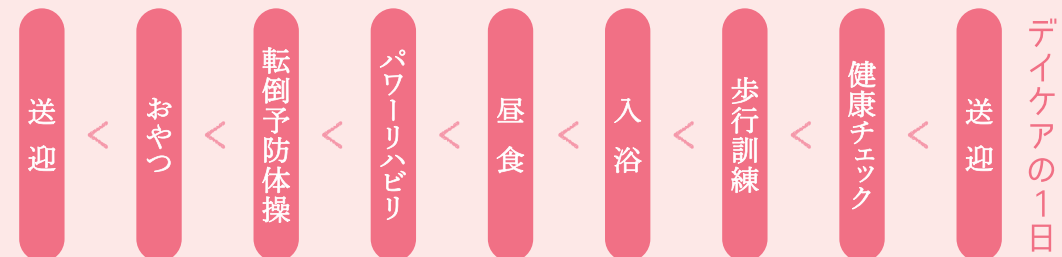


背筋と腹筋の動きをよくする運動(おじぎをする動作)

体(体幹)のバランスが不安定になると、立ち上がりづらくなったり、腰を痛めやすくなります。トorsoフレクションを使った運動で、その予防や改善を促しましょう。



- 主な効果
- 立ち上がり動作がしやすくなる
  - 座る動作がしやすくなる
  - 体がフラつきにくくなる



腹筋は上半身・下半身の骨をつなぐ重要な役割を持っています。その腹筋を使って私たちは、腰かけるとき、立ち上がりするとき、無意識に体の重心を前へと移動させています。Bさんはトorsoフレクションによるパワーリハビリで背筋・腹筋の動きを改善、立ち座りの動作がラクになり、車や電車でのお出かけに自信が持てるようになりました。

作業療法士 二階堂 英明

Bさんのケース  
(86歳 女性)  
最近、椅子から立ち上がるのがおっくうになり、昼間も自宅で寝て過ごす毎日…。日常生活にハリがありません。せめて立ち座りの動作がラクにできれば、外出も楽しめるのに…。

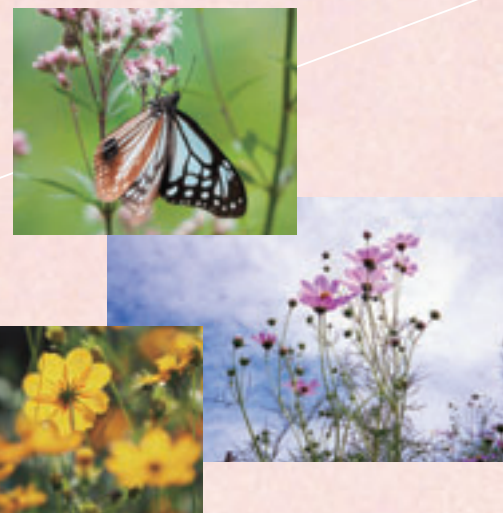
「立ち座りの動作がラク!」  
パワーリハビリでお出かけも安心



Photo Letter

待ち遠しい、蝶と花

「愛知池友の会」の方々が整備したバタフライガーデンのフジバカマに、浅葱斑(アサギマダラ)という蝶がやってきたと昨年报じられました。ホスピス病棟の東側と前庭にも、ボランティアさんの手でフジバカマが植えられ、昨年は10月中旬に数頭が姿を見せてくれました。大型の蝶で、前翅は黒、後翅は褐色の翅脈に浅葱色の斑点が並ぶことから浅葱斑と呼ばれます。さて、今年の秋も見ることができでしょうか。病院に植えられた数多くの草花の中で、秋に待ち遠しいのがコスモスです。澄みきった青空を背に、さわやかな風にゆれるコスモスを見ると、かつて流行した歌謡曲がふと浮かびます。花野の美しい季節の到来を楽しみにしつつ、暑夏を乗り切りたいものです。



老人保健施設「愛泉館」  
4つの役割

「愛泉館だより」と「みなみやま」の合併に伴いこのコーナーで愛泉館の情報を発信していきます!

- 1 入所…機能回復・在宅復帰に向けたリハビリを実施
- 2 短期入所(ショートステイ)…短期的なリハビリのほか、介護者の休養にもご利用可能
- 3 通所リハビリテーション…日帰りでリハビリ・入浴・食事などのサービスを提供(デイケア) リハビリのみの短時間デイケアもあり
- 4 訪問リハビリテーション…理学療法士などが訪問し、生活動作のリハビリを実施

ご利用に関するお問い合わせ ☎0561-74-1711 (担当/長屋、浅井)

愛泉館は地域のみなさんの在宅支援を行う在宅強化型介護老人保健施設です。





気軽にお問い合わせください

【担当/山下】 ☎0561-74-8260  
【受付時間】月～土曜 9:00～17:00

**見学だけでもお気軽に！**

「デイサービスカナン」では家庭的な温かい雰囲気の中、美味しい食事や個別での入浴のほか、お一人おひとりに合わせた機能訓練プログラムにより、ご利用者さんの自立を支援しています。季節の行事やボランティアさんのコンサートなど豊富なプログラムを楽しんでいただくこともできます。見学や体験利用を希望される方はお気軽にご連絡ください。



気軽にお問い合わせください

【担当/鈴木】 ☎0561-73-8154  
【受付時間】月～金曜 9:00～16:30

**事務所プチリニューアル**

愛知国際病院の3階にある「訪問看護ステーションえまい」の事務所がプチリニューアルしました。ここから毎朝、10人のスタッフがご利用者さんのお宅に訪問しています。専任リハビリスタッフや、病院の医師・看護師とも協力して在宅での生活を安心して送りいただけるように頑張っています！

事務所ではご相談も受け付けています。訪問看護サービスの内容や利用料、福祉制度などお気軽にお問い合わせください。

**AHIオープンハウス2018**

【日時】2018年10月8日(月・祝)  
10:00～16:00

【場所】アジア保健研修所(AHI)  
※雨天決行  
※臨時駐車場(愛知県総合教育センター駐車場)から送迎バスあり

**入場無料**

【場所】アジア保健研修所(AHI)  
日進市米野木町南山987-30(愛知国際病院となり)

ご質問やイベント詳細についてのお問い合わせはこちら  
☎0561-73-1950 ✉info@ahi-japan.jp 【担当/鳥飼】

**AHI(アジア保健研修所)**

**アジアのお祭り!**

**AHIオープンハウス2018**

毎年体育の日に開催するAHI恒例のイベント「オープンハウス」。アジアの料理、歌や踊り、民芸品の販売、アジア各国からの研修生たちとの交流など、アジアの魅力を体験したり、国際協力の取り組みに触れたり、楽しくお過ごしいただけます。ぜひご来場ください！

Cover Story



CROSS People(P3)に登場したみなさんが座談会後、ホスピスの中庭へ。花を摘みつつ患者さんの思い出話を聞かれます。


**ちょっとオフタイム**

**近隣の施設と楽しく親睦会!**

みんなで楽しくバーベキュー

愛知国際病院の創設時、周囲に何もなかったのですが、やがてさまざまな施設が建ち並ぶようになりました。14年前、お互いがぶどうの実のように連なって成長することを願い、「ぶどうの会」という施設交流会が誕生しました。今では最大9施設が参加する会となっています。先日のバーベキュー懇親会では約30人が参加し、仕事や趣味の話に花を咲かせました。「ぶどうの会」は、私たちが地域と共にあり、地域に支えられていると実感できる場。これからも大切にしたい会の1つです。(ぶどうの会メンバー 太田一道)

**ぶどうの会**



医療と介護の相談室



**Q**

～今回の相談者～  
**患者さんのご家族**

77歳の義母が鍋を焦がしたり、外出して帰り道がわからなくなったりすることがあります。認知症ではないかと心配です。

**A**

認知症が疑われる場合、まずは診断が必要です。かかりつけ医にご相談いただくか、もの忘れ外来の受診をお勧めします。認知症と診断されたら必要に応じて市町村役場で介護保険の申請を行い、要介護度の認定を受けます。相談窓口などを通して決まるケアマネジャー(介護支援専門員)と相談して、生活スタイルに合った制度やサービスなどを選び、環境を整えていきましょう。愛知国際病院では、通院が難しい方や医療的な支援が必要な場合に計画的な訪問診察や訪問看護を提供し、急な

容態変化の際には入院などスムーズに対応しています。また、ご本人だけでなくご家族の不安や負担を軽減できるよう、幅広い知識を持ったソーシャルワーカーがサポートしています。

地域で健康教室を開催して、認知症についての理解を深めていただく活動も行っています。身体的な理由であっても、認知症でも、家族だけで頑張ろうとせず社会資源をうまく利用して、地域で支えていくことが大切です。

【今回の回答者】 **地域医療連携室**

相談窓口はこちら ☎0561-73-9179(担当/川口、宇田) 【受付時間】月～金曜 9:00～17:00  
土曜 9:00～12:30



心のフリズム  
～ずっと忘れたくないエピソード～



「否定しない」会話を大切に

これまでのたくさんの出会いの中で、自分自身が学んだことが多くあります。そのひとつが「相手の気持ちを否定しない」です。このことは、私が愛泉館のケアでいま一番大切にしていることです。

以前、デイケアのご利用者さんで、どうしても入浴を嫌がられる方がいました。私たちスタッフは何とか入浴していただくとう奮闘しますが、なかなか納得してもらえません。そんなとき、一緒に働いていたスタッフにかけられた言葉があります。「まず相手を認めて受け入れること。人は自分の話を否定されると、マイナスの感情が生まれます。そうすると何を言っても受け入れてもらえなくなってしまう。この人は私を分かってくれる人だと信頼関係を作ることが大切です」。

今思えば当たり前のことですが、当時は意識していませんでした。認知症ケアの基本とされる「ユマニチュード」でも「否定せずに話を聞く＝相手を認めること」を大切にしています。あせらず会話を重ねることで、気持ちよく入浴していただけることも多くなりました。利用者さんとの間で、まずは信頼関係を築くことをこれからも心がけていきたいと思っています。(愛泉館通所看護師長 松下恵美)



East  
Favorite

名古屋から東へ  
お気に入りをご紹介

愛知県愛知郡東郷町  
ディアディア

インド・ベトナム  
タイ料理  
すべて本場仕込み!



明るいスタッフのみなさん。



日本人向けに辛さ抑えめのタイランチ。



ベトナム料理  
といえばフォー。



6段階から辛さを選べる  
人気のインドカレー。



「大切 (DEAR) な人達が集う場所」という意味が  
店名にこめられています。



異国の雰囲気が漂う店内。

### 3カ国の代表料理が一堂に

ネパール人のオーナー、バンダリ・カルナさんはインドのレストランで約10年修業した後、ベトナム人からベトナム料理を学びました。一方、奥さまの瀧下ゆりなさんは年に数回タイ旅行に出かけるほどタイ好き。趣味が高じて現地でもタイ料理を学びました。本場仕込みのインド・ベトナム・タイ料理が揃った「DEAR DEAR」は、スタッフの多くがネパール人、店内はアジアテイストと異国情緒が満載。約30種類のインドカレーにタンドリーチキン、生春巻き、トムヤムクンなど、3カ国の代表的な料理を一緒に味わえるうれしいレストランです。食べきれない料理はテイクアウトにしてくれるなど細やかな気配りも。お気に入りのメニューがぎゅっと見つかります!

#### ディアディア (DEAR DEAR)

【住所】愛知郡東郷町大字諸輪字上鉢12-360  
【TEL】0561-38-3588  
【営業時間】(年中無休)  
ランチ 11:00~15:00(L014:30)  
ディナー 17:00~22:00(L021:30)  
【駐車場】18台  
【ホームページ】  
<http://www.dear-dear.com>



#### 賛助会員募集の お知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のためには非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

- 【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757  
【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上をお願いいたします)

#### 編集後記

「みなみやま」と「ホスピスレター」をまとめるにあたり、何度もホスピス病棟に足を運び、多くの職員から改めて話を聞きました。外に広がる澄んだ青空を見ながら、感じたことをうまく言葉にできない自分の語彙力を情けなく思いつつ、なんとか締切に滑り込みセーフ!みなさまに、行間からでも、伝わることがありますように。(諸石)

●これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### 【医療法人財団 愛泉会】

- 愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター  
■訪問看護ステーション えまい ■住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】AHI(アジア保健研修所)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま89号」 発行日:2018年7月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



スマートフォンでも  
ご覧いただけます

お問い合わせ

医療について ☎0561-73-9179 (地域医療  
連携室)

介護について ☎0561-74-1300 (日進市東部地域  
包括支援センター)

【医療・介護についての受付時間】月~金曜 9:00~17:00 土曜 9:00~12:30